

HIDから、蛍光灯ダウンライトへのリニ

明るい売場づくりで、 より親しみのある百貨店に



株式会社 横浜松坂屋 専務取締役

栗原 行雄さま

私どもの創業は、1864年。 現在の店舗は、関東大震災前の建造物で横浜市の歴史的建造物の指定を受けています。ただ、歴史ある故の悩みもあるわけで(笑)。造りが古いため、どうしても店内が暗くなってしまうんです。

照度を確保しようとすると、照明の熱で熱くなる。 1~2月以外は、ずっと冷房を使用するほど。空調費だけでかなりの額になっていました。加えて、地球温暖化が深刻化している今、省エネに取り組むのは社会的な責務と、リニューアルに踏みきりました。

要望は3点。1. 熱負荷を抑えること 2.十分な照度を確保すること 3.省エネであること。南州電設さんからは、これら3点を満たす、よい案をご提案いただきました。

現時点では1階フロアのみですが、順次リニューアルしていきたいと考えています。来年は創業140周年を迎えます。地域のみなさんにもっと愛していただける百貨店づくりをしていきたいですね。



■ 施 工 物 件 横浜松坂屋

■建物の概要

所 在 地:神奈川県横浜市中区 伊勢佐木町1-5-4

延床面積:3212.83m²(1階フロア) 構造・規模:鉄筋コンクリート造・ 地上7階・地下1階

照明リニューアル:株式会社南州電設 リニューアル完成:平成15年10月



1階婦人靴売場:70W HQIダウンライトより、32Wユーライン3×2灯用にリニューアル。明るさはそのままで、熱負荷を大幅に下げることができた

リニューアルご提案書より

現状

HQI70Wダウンライト





リニューアル案

FHT32W2灯用ダウンライト

FHD-32000-PD

¥35,600

調光可能インバーター内蔵



ューアルで、省エネ・照度確保・熱負荷ダウン





1 階化粧品売場:同じく、コンパクト形蛍光ダウンライトにリニューアル。 微妙な化粧品の色合いが分かるよう十分な照度が必要



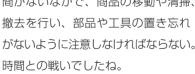
コンパクト形蛍光灯ダウンライト。 ランプは、長寿命の32Wユーライン3を使用

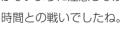
徹底した現場状況調査で、 施工をスムーズに

照度はもちろん、ランプの放熱に頭を悩まされているというこ とでしたので、明るさを確保しながら、熱負荷を下げることが できるようにHIDからコンパクト形蛍光ランプへの代替をご提案 しました。施工については、照明器具が点灯するかどうかのチ ェックや、天井裏の配線チェックなど、現場の状況調査をしっ かり行うことに気を配りました。既存改修の場合、図面もあり ませんから、施工期間より長く時間をかけて行いましたね。

百貨店ということで、当然、閉店後から次の日の開店時間まで が施工時間。点灯試験を行い、不具合な箇所が出てきたりする と朝まで作業がかかってしまうこともあるんですよ。そんな時

間がないなかで、商品の移動や清掃、 撤去を行い、部品や工具の置き忘れ がないように注意しなければならない。 時間との戦いでしたね。





熱量比較

	現状 (kw)	リニューアル後 (kw)
1階	14.25	10.65
	100%	74.7%

1階の熱量比



1階のランニングコスト比



《計算条件》 電気料金:12円/kWh、器具台数:150台 年間点灯時間:1日10時間、3600時間/年

株式会社 南州電設 工事部工事課 工事長

日髙 一男さま

